

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和7年度 第3回学校運営協議会
開 催 日 時	令和8年2月13日(金) 午前10時00分 開会・午前11時30分 閉会
開 催 場 所	入間市立藤沢東小学校 多目的室
議 長 氏 名	富井 弘 会長
出席委員(者)氏名	富井弘会長、吉野正美副会長、斎藤寿一副会長、飯島和美委員、齋藤勝久委員、久礼亮平委員、石塚順一委員、栗木友和委員、富田敦子委員、糸井信子委員、林美雪委員、小嶋洋行委員、石田浩二委員、江口哲郎委員
欠席委員(者)氏名	粕谷憲之委員
説明者の職氏名	富井 弘 会長
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	〈令和7年度 第3回学校運営協議会〉 1 開会 2 会長あいさつ 3 授業参観 4 評価・感想等 5 諸連絡 6 閉会 公開・非公開の別 全て公開
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	資料：上藤沢中学校区 学校関係者アンケート
事務局職員職氏名	藤沢東小学校 荒田 義裕 教頭
会議録作成方法	要点筆記

会議録 (2)

議事の概要 (経過) ・ 決定事項
<p>〈令和7年度 第3回学校運営協議会〉</p> <p>3 授業参観 10:05~10:20</p> <p>4 評価</p> <p>(1) 授業参観のご感想、及び令和7年度上藤沢中学校区 学校運営協議会の振り返りに ついて</p> <p style="padding-left: 20px;">・飯島委員 ・石田委員 ・石塚委員 ・糸井委員 ・江口委員 ・栗木委員 ・久礼委員 ・小嶋委員 ・齋藤委員 ・富田委員 ・林委員</p> <p>(2) 学校関係者アンケートについて【資料】 各委員様に書面にて評価をいただく。</p>

令和7年度 上藤沢中学校区 学校関係者評価

- | | |
|----------------|------------------|
| A…そう思う | C…どちらかと言えばそう思わない |
| B…どちらかと言えばそう思う | D…そう思わない |

	A	B	C	D
① 学校は、どのような児童生徒の育成を目指しているのかが分かる。	9	2	0	0
② 学校は、教育活動の情報を適切に発信している。	7	3	0	0
③ 学校は、地域と連携協力している。	6	5	0	0
④ 学校は、整備され、安心安全な環境が保たれている。	3	4	3	1
⑤ 児童生徒は、進んであいさつができる。	10	1	0	0
⑥ 児童生徒は、安心して学習や活動に取り組んでいる。	9	2	0	0
⑦ 児童生徒は、交通ルールを守り、安全に登下校している。	3	6	1	1
⑧ 児童生徒は、積極的に部活に取り組んだり、元気に外で遊んだりしている。	8	2	0	1
⑨ 児童生徒は、地域の行事に参加している。	4	5	1	1
⑩ 教職員は、礼儀正しく来校者に接している。	11	0	0	0
⑪ 教職員は、児童生徒にとってわかりやすい授業を行っている。	7	4	0	0

項目⑦・⑧・⑨に無回答がそれぞれ1あります。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
富井会長 (議長)	<p>4 評価 (1) 授業参観のご感想、及び令和7年度上藤沢中学校区 学校運営協議会の振り返りについて ①授業参観のご感想、及び令和7年度上藤沢中学校区 学校運営協議会の振り返りについて一人ずつお願いします。</p>
齋藤委員	<p>子供たちが元気である。授業せよ生活にせよ、環境が良くないと元気がでない。トイレは少しずつ改善されているが、言える機会があったら環境の改善を伝えていきたい。</p>
小嶋委員	<p>ずっと藤沢東小学校をみてきたが、久しぶりに中に入ったら、古くなったという印象を受けた。</p>
久礼委員	<p>藤沢みらいネットのパトロールで上藤沢中の生徒さんに特殊詐欺防止呼びかけのアナウンスをしてもらっている。評価で「C」を付けたのは④と⑦。安全な下校については、一斉下校時に広がって下校し、お年寄りが避けて通っていることが見受けられるから。</p>
富田委員	<p>学び合いの重視について、お互いが本当に学び合っていると感じた3回の参観だった。子供が主体となっていくことを先生がサポートしていくのか。積極的にでない子をどうしていくのか。子供主体の中で子供たちの意見を聞きながら進めていくよう保育所でもしている。意見を言える、そういう形を小学校、中学校で進めているというのを改めて感じた。</p>
糸井委員	<p>評価についてほぼ「A」をつけさせていただき。どの子も積極的に学習に取り組んでいる。一番は挨拶の評価をさせていただきました。動きをとめてあいさつをしてくれた。とてもきもちよい挨拶でした。</p>
富井会長	<p>子供たちは、挨拶を「している」と感じているが、保護者は、子供は挨拶を「していない」と感じている。その差は何なのかはわからない。</p>
齋藤委員	<p>「あいさつ」はどこまでの人にあいさつできるのか。知らない人には挨拶しない。挨拶することを求めるのはどうなのか。</p>
石塚委員	<p>鶴ヶ島では、「あいさつをしない」と言われている。不審者対策。地域によって対応が違う。</p>
江口委員	<p>私は、子供たちは、挨拶ができていると思っている。保護者は子供への期待値が高い。顔見知りであれば、ほぼほぼできていると感じている。</p>
林委員	<p>高校生をみているなかで、原点は小学生にあるのではないかと感じている。本校は7割5分が不登校経験者である。幼保小の接続は大切に</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>あると感じている。</p>
飯島委員	<p>学校が地域の中で連携している評価はA。文化祭のポスターや川柳の作品を書いてもらったり、老人会とコラボして昔の遊びをしていただいたり、よさこいや合唱も感動した。地域の人たちも楽しみにしていた。また引き続き東小とは地域連携をお願いしたい</p>
石塚委員	<p>学校だよりを読ませていただいている。学校行事に子供たちは積極的に参加している。特別講師を呼んで話を聞いているのはとてもいいと思う。</p>
江口委員	<p>上藤沢中があれていたころ、低木の剪定作業は、環境整備をしようと思った。北側の時計、駅の時計も壊れている。予算環境整備でトイレの整備が始まった。古くなったものには手をかけて直してほしい。</p>
石田委員	<p>3つ感想がある。 1つ目、三校の授業参観 生の子供たちの姿をみれたことはよかった。2つ目、今年度は50周年、記念行事を先生方もそうだが、子供たちが大イベントとして経験できたことはよかった。これは、先生と児童が目標を一つにして取り組んでいる証拠である。 3つ目、近隣助け合い推進会、民生委員をやっているが1/17に藤沢をどんな街にしたいか、40数名の人 各種団体に集まってもらい意見交換した。その中で、参加した皆さんは子どもたちに期待している。地域のイベントにいろんな形で参加してもらいたい。待っているのではなく、地域から発信していく。地域も努力していかなければならない。登下校のときは元気な声がきこえるが、自宅に帰ったあとは聞こえない。どこにいつているのか、地域が子供とぎしている可能性もある</p>
富井会長	<p>学校評議員の場で、学校改革プロジェクト委員の児童が、初めて会った人たち(学校運営委員のみなさん)の前で意見を言うのはよい経験であると思った。人前で意見を言うことには勉強になる。評価項目⑨は、地域の行事については、自治会によって活発なところもあれば活発でないところもある。地元になじんでもらうために活動するのは我々の責任であるとおもう。</p> <p>(2) 学校評価アンケート記入 各委員様に書面にて評価をいただきます。よろしくお願いたします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。	
令和8年 2月 13日	
議 長 の 署 名	富井 弘